



結 う

2026. 3. 1発行
山内地区交流センター
TEL 38-8810 FAX 53-2140
No.79

映画『山内三又』上映会 ～たくさんのご来場ありがとうございました～



2月9日(月)の午後1時30分より山内三又コミュニティセンターで三又区住民を対象として上映会を行いました。53名が続々と集まり、映画を鑑賞しました。その後、来場者の質問に答える形で山崎監督から製作の意図やテーマなどについて語ってもらいました。



同日、午後6時から当センターホールに山内内外から 100名を超える来場者が集い、映画を鑑賞しました。上映前に監督やカメラマン、プロデューサーの挨拶があり、上映後は、短時間でしたが観客からの感想や質疑応答の時間をとりました。



第2部は、製作関係者にパネルディスカッション形式で、作品への関わりや山内の魅力などについて、それぞれの立場から話していただきました。パネラーは、山崎樹一郎(監督)、光岡康寛(プロデューサー)、土谷久男、高階勇(出演)、石沢達雄(製作協力)の5氏。「熊と人との行き来」が重要なテーマであること、俳優の現場感覚を尊重する監督のスタンス、出演者として極力自然体で集中して演技に臨むことや一度途絶えた伝統的な風習に光が当たった喜び、協力者としてクマ対策に心を砕いたことなどが話されました。



【山内(三又)の魅力・底力キーワード】 山崎:「受容」 石沢:「協力心」
高階:「豊かな自然」「共助・共存」 光岡:「ゆるくも強いつながり」
土谷:「住んでいる人と自然のおおらかさ」



【来場者アンケートから】 回答者104名(山内地域79名、山内地域外25名)

<上映会> 満足・やや満足45.2% どちらともいえない39.4% やや不満・不満9.6% 無回答5.8%
<主な理由> 「言葉では伝えられない事を考えさせられる映画」「自然の生業や伝統、現代の暮らしを考えさせられる映画」「人と熊との境界線 難しかったけどおもしろかった」「答えがない映像。監督の解説を聞いて答え合わせができた」「山内地域の自然と人がマッチングし、そして不思議な感覚に包まれた。続きが見たい」「意味が分からなかった、難しかった(多数)」「セリフが少なかったので、演じる方の気持ちがよくわからなかった」「理解するのが難しい。もやっと感が残った」「何を伝えたのかわからない。深すぎる」「もう一度見たい」

お邪魔しました

第44回 三又区雪中運動会



2月15日(日)に三又地区で恒例の雪中運動会が多数の住民の参加を得て開催されました。参加者には、参加賞のほかに各競技の賞品が用意され、また、温かい豚汁や搗き立ての餅が振舞われました。快晴に恵まれ、歓声に包まれたひとときでした。



市コミュニティ・スクール研修会から

1月27日(火)に、十文字地区交流センターで、県生涯学習センター職員を講師に迎え、60名の参加者が講演とグループ研修を行いました。学校と地域の「連携」「協働」のあり方を考える時間になりました。

支援

依頼する側と依頼される側。例:避難者支援

連携

同じ時に各々の特性を生かして。目的を共有

協働

共通の目標に向かって いろいろな立場の人が
自分にできることを 自分のタイミングで

<県生涯学習センター配布資料をもとに作成>

2026年3月

山内地区交流センター施設使用予定

2月20日現在

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	つるしかざり	健康麻雀 地域づくり部会 山内囲碁同好会		5 おりひめ 合気道慈眼塾 Jふるさと山内支店	6	7 遊和会
8	9	10	11	12	13	14
		山内地域生活研究G 山内囲碁同好会	11 消防団幹部会議	12 フレッシュ3B 合気道慈眼塾	13	14 さんない保育園保護者会 (ひまわり組)
15	16	17	18	19	20	21
明月会	16	17 健康麻雀 民生児童委員協議会 JAふるさと山内支店 山内囲碁同好会	18	19 合気道慈眼塾	20 春分の日 おりひめ	21 遊和会 つぐむ
22	23	24	25	26	27	28
		健康の駅 山内囲碁同好会	25	26 合気道慈眼塾	27 さんない保育園保護者会 (さくら組)	28 スポーツ退団・結団式
29	30	31	 <p>○で囲んでいる日は「市県民税申告相談日」です。 地区指定日は申告案内のチラシでご確認ください。</p>			
		山内囲碁同好会				

山内地域人口 2,611人 (男 1,270人 女 1,341人) 1,128世帯 1月末現在